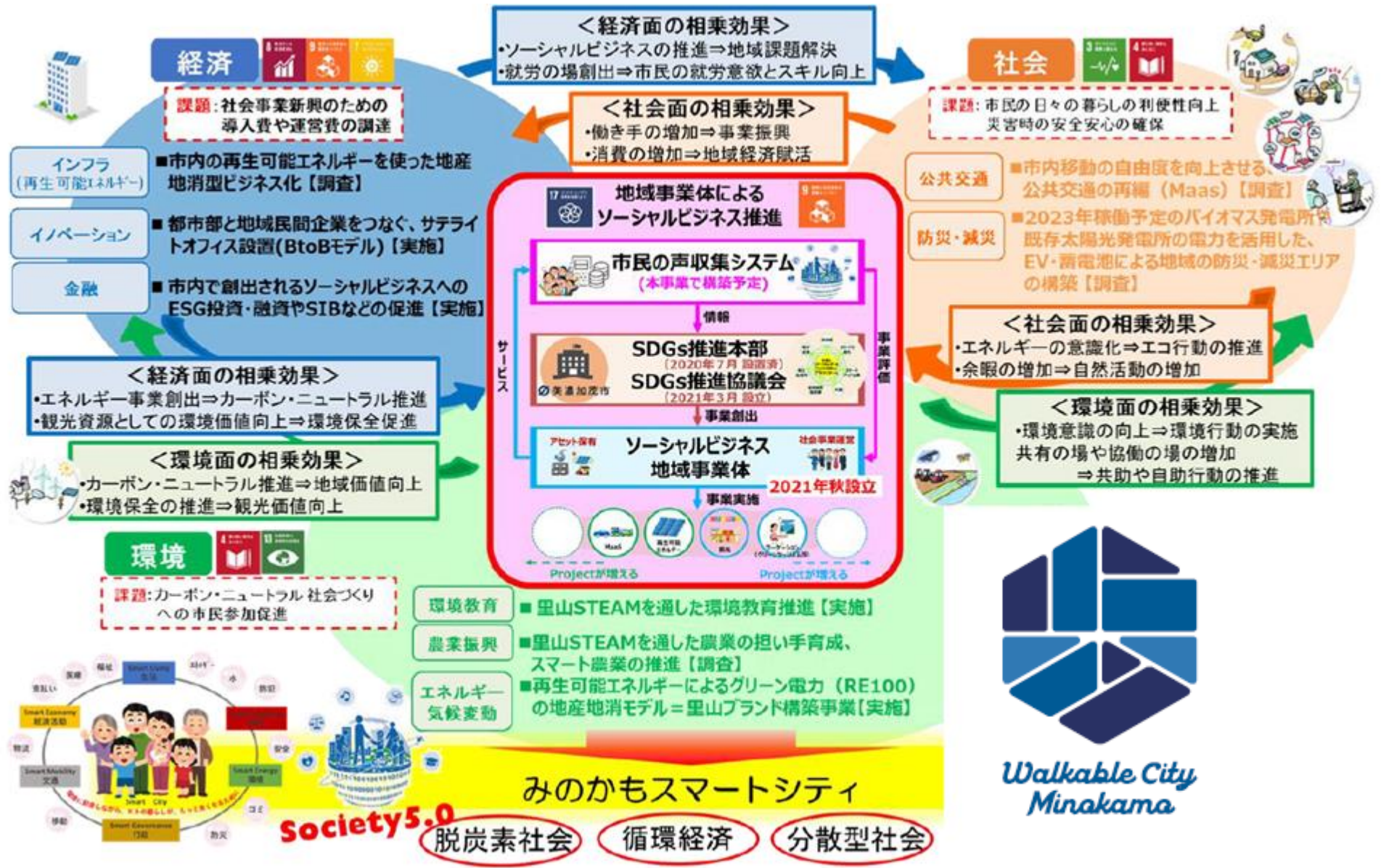


ローカルSDGs 未来都市みのかもについて



目的

経済、社会、環境に再投資する自律的好循環を目指す。（地域循環共生圏の実現）
地域で生み出した利益を地域に還元する仕組みを形成する。

カーボン・ニュートラルの実現

再生可能エネルギーによるグリーン電力の地産地消モデルの構築
→市内のバイオマス発電、太陽光発電等で得た電力を市内事業者が消費（地産地消）

ソーシャルビジネスの推進

ソーシャルビジネス事業体を設立し、社会・環境課題解決に取り組む「ソーシャルビジネス」を創出。
→ソーシャルビジネスを推進する手段として「まちづくりDX」に取り組む

里山×STEAMの実現 - 美濃加茂の里山を最先端の学び舎に

STEAMとは、「Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(ものづくり)、Art(芸術)、Mathematics(数学)」の5つの領域を重視する教育方針を意味する。

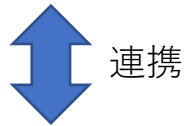
ローカルSDGsみのかもを実現するための組織

みのかもSDGs推進本部

SDGsに関する各種の取り組みの
とりまとめ、全庁的な取り組み
方針に基づく評価と意思決定。

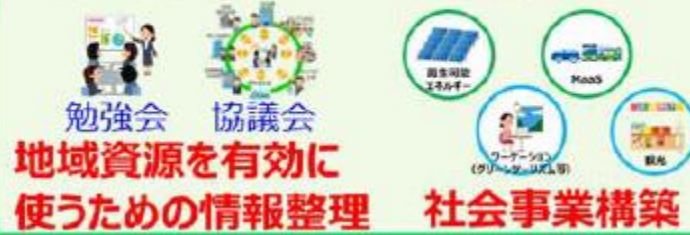


市の幹部による組織



連携

みのかもSDGs推進協議会



市内ステークホルダー（商工会議所、病院、観光協会、金融協会等）



オブザーバー（大学教授【特別顧問】、環境省、県庁等）

各部会等による協議

健康

エネルギー

農林業

観光

人材
育成

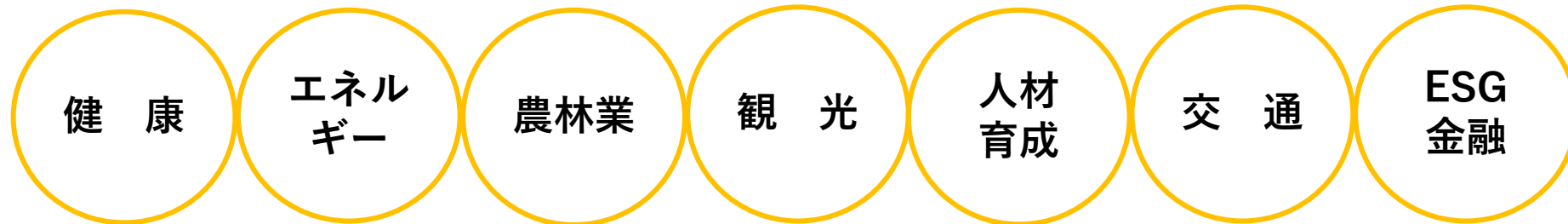
交通

ESG
金融

まちづくりDXの役割

役割

各部会等で決定されたビジョンの実現するためのデジタル面の手段



その手段として、「まちづくりシステム」の構築を目指す



- ・ ソーシャルビジネスの提案を市民等から収集
- ・ エネルギー、交通、オフィス等の一元管理
- ・ 地域通貨等による地域循環共生圏の実現
(健康ポイント、ボランティアポイントなどの付与)

1つの大きなシステムを作るのではなく、各機能ごとにシステムを作成し、それらを相互に通信させること (= Society 5.0の考え方) により、多様な機能を持った「まちづくりシステム」を構築する。

デジタル専門チームの立ち上げ

R3.12月から始動予定

©東大グリーンICTプロジェクト

©岐阜高専

©美濃加茂市職員